

人口と世帯数

(住民基本台帳による)

1月31日現在	(前月比)
総人口 25,561人	(6人減)
男 12,526人	(7人減)
女 13,035人	(1人増)
世帯数 7,086世帯	(5世帯減)

編集と発行 鷹巣町役場総務課広報係



もうすぐ一年生——

新入学を1カ月後に控えた3月2日午後2時から、鷹巣公民館ホールで「入学おめでとう大会」が開かれ、新入学生予定者 331人の子どもたちが、お母さんと一緒に参加してにぎやかに行われました。

最初に、出川町長が「もうすぐ1年生、交通事故に気をつけ、元気に学校にきてください」とあいさつ。続いて東小の器楽合奏、中央小の歌、鷹小の劇が披露され、入学の日が待ち遠しい子どもたちは、先輩の演技に盛んな拍手を送っていました。

No.428

55・3・15

新年度予算など決まる



一般会計 36億9千2百38万円

＝ 投資的経費は 31.7% ＝

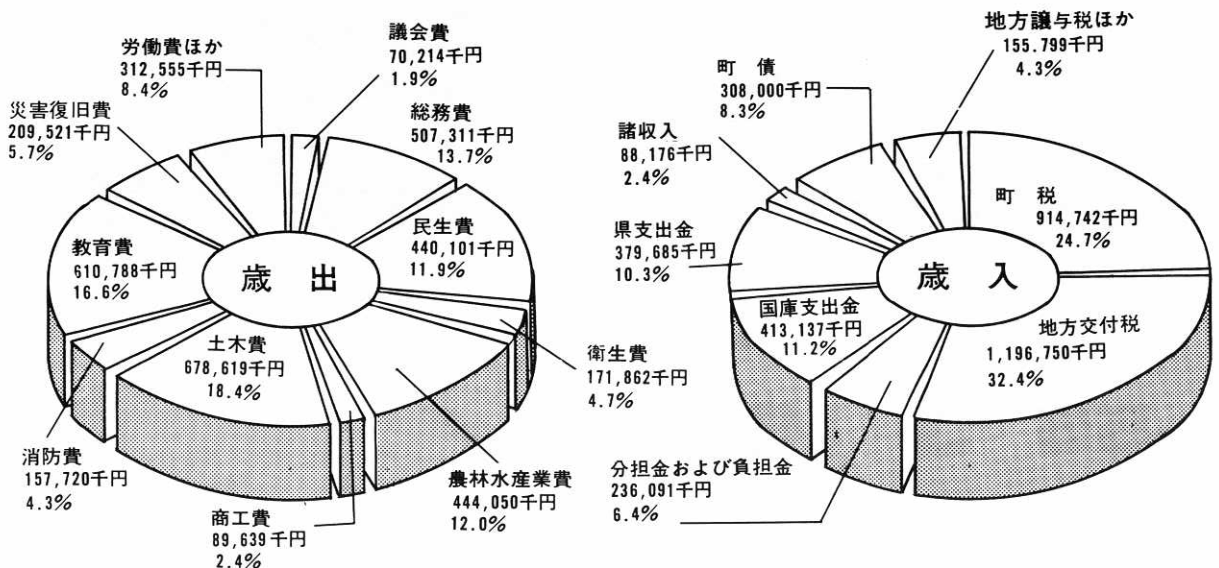
歳入では、前年度当初に比べ町税で十二・三％を始め、地方交付税、分担金および負担金、使用料

めております。町税については五十四年度決算見込みにより積算して慎重を期し、比率の高い地方交付税については、国の対前年比で五％という交付税制度創立以来、二番目という低い伸び率など厳しい状況をふまえ、歳出の人員費では五十四年度末の現員に定昇込み、物件費には物価の上昇を見込みながら、効率的配分につとめ消費的経費は必要最少限にとどめ、投資的経費にふり向けるなど、町財政の健全化につとめております。

昭和五十五年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ三十六億九千二百三十八万円で、五十四年度当初予算に比べ三億八千五百九十万二千円、十一・七％の増となっております。

新年度の予算などを審議する定例町議会は、三月十九日投票の町議会議員選挙のため、例年より一カ月早い二月十五日から二十五日までの十一日間の会期で開かれ、昭和五十五年度一般会計予算三十六億九千二百三十八万円を始め、国民健康保険会計などの特別会計、それに五十四年度各会計の補正、条例の改正、請願などを可決して終わりましたので、そのあらましを報告いたします。なお、新年度一般会計のおもな事項については、次号の四月一日付け広報にくわしく掲載します。

＝ 一般会計歳入歳出の内訳 ＝



および手数料、国庫支出金、県支出金、諸収入で伸び、地方譲与税、娛樂施設利用税交付金、自動車取得税交付金が前年同額、町債は五・六%減少しております。

歳出では、総務、民生、労働、農林水産、商工、消防、教育、災害復旧、公債の各款で三・四%から十七・九%の伸び。議会、衛生、土木、諸支出金でわずかながら減少しております。

また、性質別構成比では、投資

国保会計 九億五百万円に

九十四・六%が保険給付費

五十五年度国民健康保険特別会計は、歳入歳出ともに九億五千三百万円で、前年度当初予算に比較して七千五百三十九千円、八・五%の増となっております。

予算の基礎となる国保加入数および被保険者数は三千六百十世帯、一万一千人で、前年度当初に比べ十世帯、十人の増となっております。

なお、国保加入率は世帯で五十九・九%、被保険者で四十三・三%。

(歳入)

歳入は、▽保険税三億一千四百八十七万円、▽国庫支出金五億二千七百十三万六千円、▽県支出金百五十万円、▽繰越金六千万円が主なものです。

なお、一世帯当たりの平均保険料は、八万七千四百五十二円が見込まれております。

的経費がトップで全体の三十一・七%、以下人件費二十三・四%、賃金や旅費、需要費などの物件費十四・九%、補助費等十三・四%、公債費七・一%と続いています。

一般会計の歳入歳出および町税、性質別経費の内訳は、下記円グラフのとおりです。

なお、一般会計の歳出については、四月一日付け広報でくわしく報告します。

(歳出)

歳出では、▽保険給付費が八億五千六百二十九万六千円と最も多く全体の九十四・六%。内訳は、療養給付費七億四千四百四十八万六千円、高額療養費九千四百七十六千円、療養費七百八十七万円、助産費七百四十四円、葬祭費二百八十二万円、審査支払手数料二百六十万円となっております。

以下、▽子備費二千五百九十七万五千円、▽総務費二千二百四十五万七千円、▽諸支出金四十四万一千円。

財産区特別会計

▽綴子財産区会計

歳入歳出それぞれ四百八十八万七千円。

▽栄財産区会計

歳入は、立木売却収入三百五十四万八千円、土地貸付収入五十万円、県の造林補助五十万円。歳出は、管理会費百二十四万円、除間伐などの総務費百三十万八千円、一般会計への繰出金百四十三万六千円、予備費二十万円。

▽坊沢財産区会計

歳入歳出それぞれ一千五百四十四万七千円。

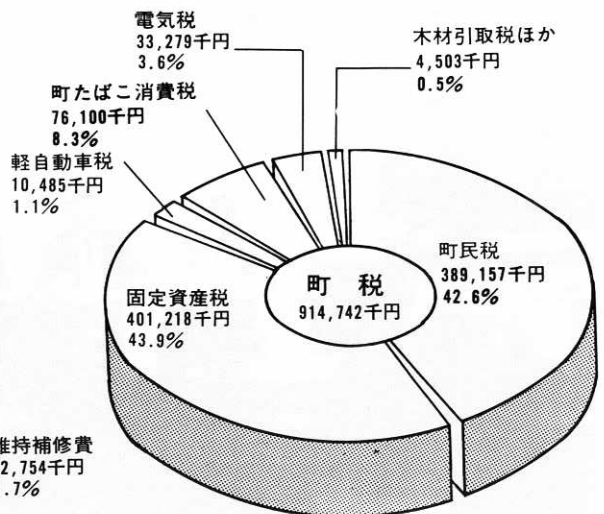
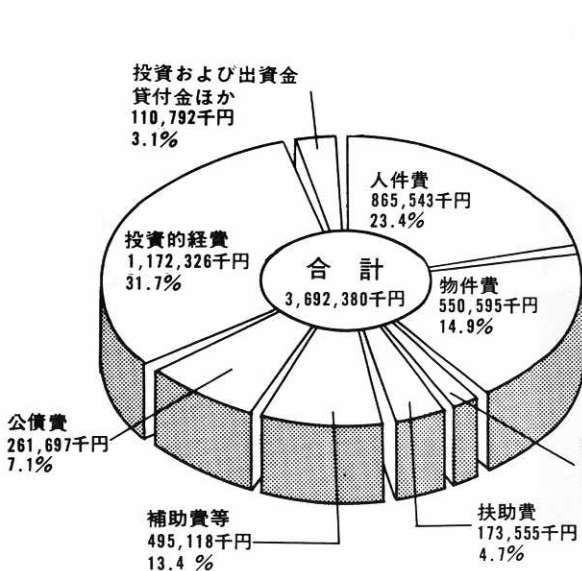
歳入は、土地売却収入一千五百零八千円、県の造林補助三十三万五千円。

歳出は、管理会費八十八万八千円、財産管理費は七百四十三万八千円で、内訳は柏沢作業道新設工事六百六十六万七千円、賃金二十八万五千円、委託料二十五万円が主なもの。諸支出金は一般会計への繰出金六百九十二万二千円、予備費二十万円。

▽沢口財産区会計

＝性質別経費の内訳＝

＝町税の内訳＝



歳入歳出それぞれ百六十二万七千円。
 歳入は、繰越金。歳出は、管理会費六十四万四千円、諸支出金は一般会計への繰出金八十七万七千円、予備費五万円。

▽七市財産区会計

歳入歳出それぞれ一千五百四十四万七千円。
 歳入は、土地、立木売却収入一千四百九万九千円、県の造林補助金百三万九千円。
 歳出は、管理会費百四十四万四千円、総務費は三百五十二万五千円、内訳は、造林事業二百七十五万九千円と賃金四十五万九千円が主なもの、諸支出金は九百九十五万九千円、上舟木部落への会収益一千九十九万九千円と一般会計への繰出金三百六十八万九千円、予備費は二十万円。

簡易水道特別会計

▽繰子簡易水道会計

歳入歳出それぞれ一千七百七十六万八千円。
 歳入はほとんどが水道使用料で一千七百五十五万五千円、以下諸収入十一万七千円、繰越金十万円。
 歳出は、衛生費一千七百二十六万八千円、内訳は原水及び浄水費六百八十八万六千円、配水及び給水費四百八十五万五千円、総計費四百三十九万三千円、設備費百六十二万二千円、受託工事費二十一万八千円となっており、

予備費は五十万円です。

▽坊沢簡易水道会計

歳入歳出それぞれ七百二十二万八千円。
 歳入は、水道使用料及び手数料四百四十六万五千円と一般会計からの繰入金二百六十万九千円、この内訳は、衛生費七百七十八万二千円、配水及び給水費八十二万二千円、総係費五百五十八万七千円、設備費二十四万四千円、設備費九万五千円となっており、予備費は十五万円。

▽七座簡易水道会計

歳入歳出それぞれ九百五十六万五千円。
 歳入は、水道使用料及び手数料四百三十七万二千円、一般会計繰入金五百万円、繰越金十五万円。
 歳出は、衛生費九百四十一万四千円、内訳は原水及び浄水費七十七万九千円、配水及び給水費二十二万四千円、総計費八百二十二万四千円、設備費十四万九千円、受託工事費五万円となっており、予備費は十五万円。

水道事業会計

上水道の業務量を、給水件数二千五百三十件、年間総給水量七十二万三千立方方、一日平均給水量一千九百八十一立方方、有収水量率八十二・五％の業務量を予定しております。

収益的収入及び支出では、収入において事業収益九千二百十五万四千円、この内訳は営業収益八千八百五十七万四千円、営業外収益三百五十八万円。支出は事業費八千二百八十二万六千円、この内訳は営業費用五千七百九十九万九千円、営業外費用二千三百九十三万九千円、特別損失三十九万六千円、予備費五十万円。

予定損益計算書並びに貸借対照表では、当年度純利益九百三十五万六千円、未処分利益剰余金も同額が見込まれております。
 資本的収入及び支出では、収入は資本的収入二十一万円で、この内訳は固定資産売却代金であります。支出は、資本的支出一千六百七十五万五千円で、この内訳は、建設改良費五百六十万九千円と企業債償還金一千百四十万九千円となっており、資本的収入額が資本的支出額に対し、不足する額一千六百四十九万九千円は、過年度分損益勘定内部留保資金をもって補てんすることにしてあります。

また、たな卸資産の購入限度額を四百万円と定め、独立採算制の旨に沿う予算措置となっております。

各種特別会計

▽と畜場会計

歳入歳出それぞれ一千七百九十四万五千円。
 歳入は、使用料及び手数料一千七百一十一万五千円と諸収入八十二万八千円。
 歳出は、と場経営のための臨

「雪の見直し」のシンポジウム

雪の積極的な活用を

大野台開発促進協議会、秋田フィンランド協会などが主催する第三回「秋田と雪」のシンポジウムは、雪国を見直そうをテーマに二月二十三日午後零時三十分から、鷹巣公民館に全県から約七十人が参加して開かれました。

このシンポジウムは、雪の科学的な研究を進め、雪の克服をめざそうと開いたもので、当日は開会のおと、国立防災科学技術センター新庄支所長の中村勉氏が「雪国の未来像」と題し、雪害や除雪を重点にした講演。

続いて出川町長が「雪の効用」、盛岡敬二医師が「雪の保健」など四人の方からそれぞれの分野から基調報告、最後に出席者の間で討議が行われ、「雪の積極的な活用」を確認、午後五時に会を終りました。



時職員の賃金、と夫委託料、その他維持管理経費などです。

▽宅地開発事業会計

歳入歳出それぞれ一千九百五十万千円。

この会計は、前野団地の分譲土地の売払収入と契約解除した者に対する還付金。

▽土地取得会計

歳入歳出それぞれ二千円の置き科目。
基金現在高は、三千十三万千

綴子簡水を改良工事

総事業費四億七千五百万円

▽綴子簡易水道事業経営変更について

綴子簡易水道施設が老朽化したため、施設の改善と水源の確保、あわせて給水人口の拡大を図るため、あらたに経営の変更を行うものです。

▽綴子簡易水道事業のあらたな事業内容は次のとおりです。

- ▽給水区域 岩谷、二本杉、大畑、糠沢、昭和、大堤、上町、下町、前野、田中、新田中、掛泥、高野尻
- ▽給水人口 五千人
- ▽給水量 一日最大給水量一千四百八十立方尺、一日平均給水量一千九十四立方尺、一人一日最大給水量二百九十六リットル、一人平均二百十九リットル。

九十一円。

▽募地公園会計

歳入歳出それぞれ三千三百三十八万七千円。

歳入は、永代使用料一千三百四十四千円、管理手数料二十万九千円、一般会計からの繰入金一千八百十三万四千円。

歳出は、公園整備工事費六十万円、造成工事償還金一千二百二十二万二千円、旭町墓地移転に伴う経費一千二百十九万八千円、賃金・人夫賃に百四万五千円。

めに必要な条例の改正です。

▽財産区管理会条例の一部改正

七座財産区管理会を廃止するとによる改正。

▽財産の処分について

坊沢財産区有地、坊沢字深閑沢の原野七筆一万七千二百九十三平方尺と山林一筆千二百平方尺、合計一万八千五百三十三平方尺を、秋田市中通秋田県勤労者住宅生活協同組合に売却するもの。

決定した意見書

▽国鉄阿仁合線廃止、地域別運賃の導入に反対する意見書提出について（提出先 総理、自治、運輸の各大臣と国鉄総裁）

▽急傾斜地崩壊防止施策等に関する意見書提出について（提出先 秋田県知事）

採択となった請願

▽コンピューター断層撮影装置導入の助成について（請願者 北秋中央病院長）

▽言語障害児教育に関する陳情書（秋田県言語障害児教育推進協議会長）

▽町道編入方についての陳情書（中屋敷部落会長）

▽町内排水路の管理及び改良に関する陳情書（あけぼの町内会長）

▽急傾斜地崩壊防止施策等に関する陳情書（坊沢大柳倍十二名）

目をみはらせた生活工夫展

野菜チップスに町長賞

第八回大館北秋田生活工夫展が、二月二十三、二十四の両日、鷹巣公民館ホールで開かれ、各市町村からの参観者でにぎわいをみせていました。

工夫展には、生活改善グループや婦人部員たちが、暮らしの向上をめざして知恵をこらした食品類や衣類、手芸品などこれまで最高の三百二十五点が出品され、参観者たちは熱心な出品作品のつくり方をメモしていました。

なお、町長賞は脇神・佐藤セイさんの「野菜チップス」が受賞しました。



住居表示は審議未了

▽字の区域および名称の変更について
 十二月定例町議会で住居表示特別委員会に付託審議していた「字の区域および名称の変更については、同特別委員長から次の理由により継続審議にしたいとの申し出があり、本会議でこれを認めたことから、同議案は現在の議員が三月三十一日で任期満了となり、継続審議が不可能となったことから審議未了となりました。
 (継続審議申出の理由) 本委員会は、法に基づく公聴会による意見聴取および施行自治体の実態等を調査し、審査の方向を定めてまいりましたが、変更申請街区を個別に論議する以前の問題として、関係住民の感情が激しく対立して

五十四年度一般会計は—

四十一億八千万円に

昭和五十四年度一般会計は、一千九百二十一万円を減額し、歳入歳出予算それぞれ総額は四十一億八千三百六十六万六千円となりました。

(歳入)
 歳入では、▽地方交付税一千二百七十四万四千円、▽使用料及び手数料百九十七万二千円、▽県支出

金二千九百六十三万六千円、▽寄付金三十万四千円、▽諸収入二十八万六千円をそれぞれ追加。▽交通安全対策特別交付金三十万九千九百七十七円、▽国庫支出金一千四百六十二万七千七百七十七円、▽繰入金六百六十七万二千円、▽町債三千六百六十七万二千円をそれぞれ減額しております。

(歳出)
 ▽議会費 百六万二千円を追加。主な追加は、旅費五十七万九千円と食糧費四十九万二千円
 ▽総務費 八百八十六万八千四百円を追加。内容は共済組合負担金四百九十一万七千四百円、広域圏組合負担金百七十四万四千円、駐車場設置促進補助四十八万三千円
 ▽民生費 四百五十九万五千円を追加。内容は福祉医療給付費百五十六万六千円、私立保育所措置費二百七十六万三千円、私立保育所暖房費補助四十八万八千円
 ▽衛生費 七百八十五万円の減額。内容は、墓地公園会計への五十九万四千円と坊沢簡易水道会計への三百一十万円の繰出金と予防費百四十七万七千円をそれぞれ減額、と畜場会計への繰出金七十七万七千円を追加
 ▽労働費 二十万七千円を減額
 ▽農林水産業費 一千九百九十四万四千円を減額。内容は、七日市基幹集落センター増築取りやめ七百三十六万六千円、農地費四百六十八万五千円、林業費二百二十六万六千円を減額、車購入百四十四万三千円を追加
 ▽商工費 二十三万二千円を減額
 ▽土木費 六百三十四万円を追加。内容は、除雪機械の借上二百万円、人件費五百九十一万円を追加、がけ地住宅移転で百六万六千円を減額したのが主なもの
 ▽消防費 二十二万七千円を追加
 ▽教育費 一千六百七十二万五千円を追加。内容は、陸上競技場便所新築工事七百五十万円、同競技場備品一千五百万円を追加

保健補導員研修会開く 住民の健康管理を誓う

住民の健康管理に大きく貢献している保健補導員、結核予防婦人会の研修会が、二月二十一日午前十時から鷹巣公民館ホールに約百人の保健補導員らが出席して開かれ、成人病予防と結核の撲滅を誓いあいました。

当日は、出川町長のあいさつに続いて、午前中は奈良良院・奈良久枝医師の「更年期障害と婦人病」の講演。午後からは岩谷保健婦の「モデル地区の現状と今後の活動」、長岐香寿子七日市婦人会長の「健康大学を開催して」、河田ユキ太平町補導員の「地域ぐるみ健康増進活動」、相馬イネ竜森地区補導員の「地域ごと補導員研修会に望む」と題してそれぞれ事例発表。午後三時までみっちり研修しました。



給食費で三百十六万四千円を減額したのが主なものです。
 ▽災害復旧費―四百八十萬三千円を減額。
 ▽予備費―五百万円を追加。

54年度特別会計補正

▽坊沢簡易水道会計補正

十三万六千円を減額、歳入歳出それぞれの総額は六百九十五万四千円。
 歳入では、一般会計からの繰入金百三十万円を減額、水道使用料三十万四千円、繰越金八十五万五千円を追加。歳出では、配水給水費で八万五千円を追加。総係費で二十三万七千円を減額。

▽と畜場会計補正

九十万円を減額、歳入歳出それぞれの総額は一千七百九十九万四千円。
 歳入は、と場及び冷蔵庫使用料九十七万二千円と手数料百万六千円を減額、繰越金七十七万七千円と一般会計からの繰越金七十七万七千円を追加。歳出は、燃料費など需要費四十万円と夫委託料五十万円を減額。

▽墓地公園会計補正

五百十九万四千円を減額、歳入歳出それぞれの総額は一千九百九十五万六千円に。
 歳入は、全額一般会計繰入金の減額、歳出は、旭町墓地移転経費の未執行分が主なもの。

▽綴子財産区会計補正

四十万三千円を減額し、歳入歳出それぞれの総額は八百三十

七万七千円に。
 歳入は、全額繰越金の減額、歳出も全額一般会計への繰越金の減額です。
 ▽栄財産区会計補正
 一千三百七十六万五千円を減額、歳入歳出それぞれの総額は四千四百六十二千円に。
 歳入は、全額土地売却収入の減額、歳出は、作業道工事取止め三百五十八万円、登記事務委託三百六十万円、同貸金三百八万三千円、需要費二百三十万円、原材料百三十七万七千円をそれぞれ減額、一般会計繰出金九十六万円を追加。
 ▽坊沢財産区会計補正
 六万三千円を減額、歳入歳出それぞれの総額は九百三十三万七千円に。

▽七日市財産区会計補正

歳入は、全額繰越金の減額、歳出も、全額一般会計への繰出金の減額です。
 ▽沢口財産区会計補正
 二十一万六千円を減額し、歳入歳出それぞれの総額は四百四十万三千円に。
 歳入は、全額繰越金の減額、歳出も、全額一般会計への繰出金です。
 ▽七日市財産区会計補正
 六百八十七万七千円を減額し、歳入歳出それぞれの総額は二千五十一万四千円に。
 歳入は、全額不動産売却収入の減額、歳出は、財産管理費で三十五万九千円、七日市基幹集落センター増築取止めに伴う一般会計への繰入金六百五十一万六千円が主なもの。

4月から国民年金の保険料が改定されます

四月から、国民年金の保険料が一カ月三千七百七十円に改定されます。
 老後の生活の支えとなる国民年金は、その値打ちが下がらないように、物価の変動に応じて年金額のスライドを行なうなど、毎年のように給付額の改善が行われています。
 昨年も三・四%の給付アップが実施されましたが、これらのお金

四月から、国民年金の保険料が一カ月三千七百七十円に改定されます。
 老後の生活の支えとなる国民年金は、その値打ちが下がらないように、物価の変動に応じて年金額のスライドを行なうなど、毎年のように給付額の改善が行われています。
 昨年も三・四%の給付アップが実施されましたが、これらのお金

国民年金の特例納付制度は

六月三十日までです

県民歩くスキーのつどい 雪に体を鍛えよう



県教育委員会や秋田フィンランド協会などが主催する「第一回県民歩くスキーのつどい」が、二月二十四日大野台ハイランドに、全県から約四百人のスキーヤーが参加して開かれました。歩くスキーは、雪の多い北欧では昔から盛んで、国内では北海道ではかなり普及しており、本県でも冬のスポーツとして、また体力づくりに広く普及させようと準備が進められてきたものです。
 当日は、午前十時三十分から開会式が行われ、午前中は講義、午後からは久しぶりの明るい日差しをいっぱい受け、林間を縫う4.5のコースで汗を流していました。

町議会議員選挙

3月19日が投票日

町議会議員選挙は、三月十二日に告示され、いっせいに選挙運動がはじまり、町内は選挙一色にぬりつぶされています。投票日は三月十九日(水)です。町議会議員の選挙は私たちにとつてもっとも身近な選挙です。候補者の人物、公約をよく検討して投票しましょう。

「有権者数は 一八、三九九人」

二月十一日現在の町の登録者は一万八千三百九十九人。男八千六百七十九人、女九千七百二十九人で、女が一千五百九十九人多くなっています。地区別にみると、鷹巣七千六百九十三人、栄九百五十九人、綴子四千七十四人、坊沢一千五百六十六人、七座九百九十三人、沢口一千四百三十三人、七日市一千七百四十一人となっています。

なお、町議会議員選挙の登録資格の基準日は三月十日ですので、基準日の三月月前の十二月十日以

前から当町に引き続き住んでいる方で、住民基本台帳に登録されている方、および投票日の翌日の三月二十日までに満二十歳になる方は、有権者となり、投票日前に町外に転出した場合は、その日から選挙権がなくなりますので、当日の有権者数には若干の変動がある見込みです。

「午前七時から 投票を開始」

三月十九日の投票日は、午前七時から午後六時まで、町内二十五カ所の投票所でいっせいに投票が行われますが、次の投票所で閉鎖



時間が繰り上げられますので注意してください。

- ▽午後四時まで
 - 明利又投票区||松沢部落会館
 - 竜森投票区||三の渡部落会館
 - 坊山投票区||坊山部落集会所
 - 岩谷投票区||旧岩谷分校
- ▽午後五時まで
 - 葛黒投票区||葛黒部落集会所
 - 黒沢投票区||黒沢生活改善センター
 - 緑ヶ丘投票区||緑ヶ丘部落会館
 - 田子ヶ沢投票区||田子ヶ沢部落会館

「開票はヨルの 七時三十分から」

町議会議員選挙の開票事務は、選挙当日の三月十九日午後七時三十分から鷹巣町公民館ホールで行います。

結果は、午後九時三十分前後に判明の予定です。なお、開票事務参観については、会場の関係から一定の入場者が入ると会場を締め切ることにありますのでご承知してください。

「選選のご用件は 二局九〇〇〇番」

町議会議員選挙事務執行のため、役場二階小会議室に事務局を設置、臨時直通電話二局九〇〇〇番を設けましたので、選挙についてのお問い合わせにご利用ください。

町長日誌

2月16日～2月29日

- 19日 町民卓球大会
- 18・19日 町議会本会議(一般質問)
- 20日 泉町村会定期総会、秋田県町村土地開発公社設立団体会議||秋田市
- 21日 保健補導員・結核予防婦人会研修会
- 22日 教育民生常任委員会
- 23日 大館・北秋田地区生活工夫展表彰式
- 24日 町農業青年研究集会
- 25日 町議会本会議(最終日)
- 26日 町消費者会議設立準備会
- 27日 北秋中央病院運営委員会
- 28日 建設業協会との協議会
- 29日 町議会本会議(最終日)
- 20・21日 各常任委員会
- 22日 総務・教育民生常任委員会
- 25日 町議会本会議(最終日)

議会日誌

2月16日～2月29日

青年会で町政を語る会

身近かな問題で質疑

評価される勉強のあと

青年の声を町政に、町連合青年会の「町政を語る会」が、三月三日午後七時から役場大会議室で開かれ、およそ三時間、間にわたって町政全般について熱心に話し合いが行われました。

「町政を語る会」は、町連合青年会が町政の学習と政治意識の高揚、そして青年の声を町政に反映させようと、昭和四十年から開いているもので、当日は、町から町長、助役、教育長、それに課長



など十二名、青年会からは、二十五名が出席して開かれました。始めに、三沢博隆会長が「町政を語る会」で要望してきたことが、数多く実現し感謝している。私たち青年も、住みよい町づくりに大いにがんばりたい」とあいさつ。続いて出川町長が「町財政の健全化を図りながら、福祉、教育、保険衛生、農業、土木などバランスを保ちながら町政を推進したい」と、それぞれの分野について具体的に述べました。

このあと話し合いに入り、青年会からおよそ三十項目にわたって要望、意見がだされましたが、具体的な問題や、身近かな問題など質問内容も深く、青年会員の事前調査など、勉強のあとがうかがえました。

話し合いの主な事項は、次のようなものでした。

- ▽国道一〇五号線鷹巣バイパスと中宿橋の建設について「バイパスについては、五十一年から沢口地区を主体に用地買収をしてきたが、ほぼ終了したので、これからは太田、綴子地区に入る。中宿橋は早期実現のため、関係機関に陳情を続けていく。
- ▽農業後継者の嫁、婿養子の不足に対し、町に窓口を以前農林課で検討したことがあるが、なんといっても青年自身がサークルなどに積極的に参加、自らがサポートが大切だ。公民館で広域的に検討してみたい。
- ▽図書館の建設見直し「五十五年からスタートする五カ年計画の中でも、できるだけ早い時期に建設したい」と検討している。
- ▽企業誘致について「経済が好転すれば可能性はあるが、当面は無理である。
- ▽坊沢地区に宅地の造成を「深閑地区の財産区有地一・八haを県勤労者協会に売却したが、ここに五十五年二十戸、五十六年二十戸、五十七年十戸が建設され、分譲される予定である。
- ▽農協の合併について「合併するとメリットはあるが、現実には各農協ともそれぞれ経営状況があり、困難である。
- ▽綴子公民館の新築問題について「農林省関係の補助を得て、七日市基幹集落センターと同規模のものを七月頃に発注、降雪前に完成させたい。

以上のほかに「農業問題」▽総合センターの設置、▽七日市農協前交差点に信号機を、▽あけぼの町の通学路と大型車の進入禁止など、三十項目にわたって有意義な話し合いが行われました。

歳時記

春分の日



今年の春分は三月二十日の午後八時十分です。なぜ時刻まで決まっているのか不思議に思われる方もおられるでしょうが、春分とは天文学の上では太陽が赤道を横切る点(春分点)つまり一瞬なのです。そして、この日が「春分の日」として国民の祝日に定められているのはよくご存じのとおりです。その趣旨は「自然をたたえ、生物をいつくしむ」。

春分の日といえ、ぼたもち——ことさら甘党の人でなくても春の彼岸の「風物詩」として

ぼたもちをすぐ思い浮かべます。ところで、このぼたもちと秋の彼岸のおはぎは同じようなものですが、それを花にたとえて春は牡丹(ぼたん)もち、秋は萩(はぎ)のもちとよぶところなどは、日本の、自然をたたえる、気持ちがよくあらわれているといえるでしょう。

ところで、春分の日昼と夜の長さが等しいことはだれでも知っています。本当にそうかと日の出、日の入りの時刻を調べてみましたら、東京を例にとると、日の出が午前五時四十五分、日の入りは五時五十三分——オヤオヤ、昼の方がちょっと長いようですね。

同じはずなのに、どうして違ってくるのか、理由はこうです。日の出は「太陽の頭が現れたとき」なのに対し、日の入りは、「太陽がすっかり隠れた瞬間」を記録するためです。つまり、太陽一つ、ぶんだけ昼が長くなるというわけですね。そのほか、光の屈折で太陽が浮き上がって見えることも、そのぶん日の出が早く、日の入りが遅くなる原因の一つだということです。



第3回 町農業青年研究集会

農家自身が積極的取り組みを
経営に発想の転換も



第三回町農業青年研究集会は、二月二十四日午前九時から七日市基幹集落センターに沢口・七日市地区の農協青年部、婦人部から六十人が参加して開かれました。集会では、このほど七日市・沢口地区の農業青年に行った「農業経営に関するアンケート結果」について、改良普及所藤島所長補佐から解説が行われ、続いて県立営農大学校鈴木副校長の「根をつくる身づるぎを」の講演が行われました。

特例納付制度は
六月三十日まで

国民年金

六十五歳になって老齢年金を受けるためには、保険料を納めた期間が二十五年以上あることが必要です。

また、保険料の免除を受けたことのある人は、免除期間と納めた期間の合計が二十五年以上あればよいことになっています。ところで、保険料を納め忘れていて二年たつと時効になり、それ以後はその分の保険料は納められなくなり。

このような未納期間が多くなりますと将来、納付期間の合計が二十五年に満たず、老齢年金を受けられなくなる場合があります。そこで、このような人をなくすため、時効で納められなくなっている過去の期間の保険料を、特別を認めて納付できるようにしたのが「特例納付制度」です。

この特例納付制度を利用できるのは、現在国民年金に加入しているか、これまでに加入したことがある人で、過去に当然加入の期間を有し、その期間について保険料を納めていない場合に限られます。また、国民年金に当然加入しなければならぬのに加入の手続き

墓地供養物は持ち帰り
きれいで清潔な
墓地にしましょう

をとりついでいなかった人も、特例納付をすることが出来ます。特例納付をして納める保険料は未納期間一カ月につき四千円です。特例納付の取扱期間は今年の六月三十日までです。保険料を納め忘れたり加入し忘れていた方は、この機会をお見逃しなきように。なるべくお早めに役場町民課年金係（電話二一一一―一番）で手続きをしてください。

郷土史年表

③

西暦 年号 事 項

西暦	年号	事	項
一五八九	天正一七	安東氏が秋田氏を名のる。	
一五九五	文祿四	八月から十一月にわたり浅利氏と秋田氏の軍勢が米代川をはさんで摩当付近で対戦。	
一五九七	慶長二	秋田氏の軍兵が綴子と坊沢に放火撫功の厄（ナデギリのヤク）にあう。	
一五九八	慶長三	浅利、秋田氏の抗争で蟹沢村十三戸が壊滅し廃村となる。	
一六〇〇	慶長五	（豊臣秀吉死ぬ・六十三歳）	
一六〇二	慶長七	浅利頼平、大阪表において頓死し、浅利死は滅亡す。	
		（関ヶ原の戦い）	
		佐竹義宣が常陸から出羽（秋田）に国替えを命ぜられ、秋田実季、戸沢盛政らは常陸に転封。	
一六〇三	慶長八	（徳川家康征夷大將軍になる）	
		坊沢村に検地あり、家二十二軒	
		向黒沢 開村	
		蟹沢に家 三軒あり	
		（大阪夏の陣、豊臣氏亡びる）	
		綴子八幡宮神殿建立	
		（徳川家康死ぬ 七十五歳）	
一六一四	慶長一九	大館城代から拝領の御差紙に坊沢村之内鷹栗村、綴子村之内石之巻村とあり、三ヶ田刑部鹿角から鷹栗村に移り来る。	
一六一五	元和一	坊沢村の内、鷹栗村に新開検地あり。	
一六一六	元和二	一國一城の制により角館、湯沢十二所	
一六一七	元和三	檜山の城を破却し、とくに横手、大館の二	
一六一九	元和五	城を残し本城と合わせて秋田三城という。	
一六二〇	元和六	近藤内蔵之助、摩当村新開の差紙拝領	

（次号に続く）

テレビ利用で

楽しい生涯学習

放送の見直しを

- ★ 「テレビは娯楽のために」という考えから、更に「くらしに
- ★ も役立つテレビ利用」に励んでいる方が町内におよそ八百人
- ★ おります。これらの人々はテレビテキストを求めて一人で学習
- ★ しているものですが、テキストなしでテレビを学習に役立てて
- ★ いる人もかなり居ると思われれます。
- ★ テレビ番組を新聞でしらべてみると学習の素材がいっぱいあ
- ★ ります。漫然とテレビをみるのではなく日日の生活で気がかり
- ★ なこと、問題になることなどをつきとめるためのテレビ視聴を
- ★ している二人のお茶の間学習者をご紹介します。

生活に

変化を求めて

あけぼの町 高橋 ヤエ(45)



さし木を長年やっています。おじが、「日曜日には必ず『趣味の園芸』を見てい

うことを耳にしてから、ここ数年ずうっと見ておりますが、次第に関心が深まり、いつも楽しみにしております。

この時間は主人の見たがる「時事放談」もあって悪いけど遠慮してもらっています。そして昨年の

「おかあさんの勉強室」を見て

米代町 新井 よな子(33)



我家には、小学校二年生の長男と幼稚園に通う長女の二人の子供がおりますが、二人とも大変な甘えん坊で、好きなことはよくやりますが、嫌いなこと

苦手なことには見向きもせず、どうして興味を持たせようかというのが、私の一番の悩みでした。ふとしたことから、NHK「おかあさんの勉強室」が放映されていることを知り、見続けていくうちに随分と気が楽になっていくのを感じております。時間は、月曜日から木曜日の教育テレビ午後三時三十分から四時五十分まで、再放送が翌日の総合テレビ午前十一時二十分から十一時五十分までの三十分間です。

吉岡たすく先生の具体的な例をまじえてのわかりやすい教育相談は、お話も実に楽しく身近な問題として、実生活に役立つことばばかりです。各界で活躍中の人達の人生経験豊富なお話もあり、ついひき込まれて見るうちに、自分が今かかっている問題、子供の教育のこと、家庭のこと、その他いろいろなお話がわかり、とてもよい勉強になります。私にとってこの三十分間は、楽しく貴重なひとときです。



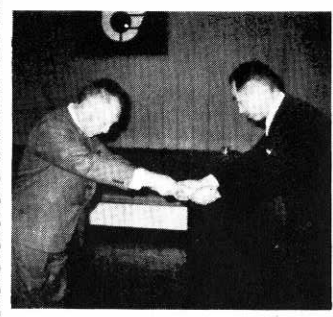
図書館だより

四十二歳の人たちがブリタニカ寄贈

今年、四十二歳になった人たちが五十八人(木村秋雄代表が、二月一日、厄払い祈願の記念事業として、図書購入費として三十万円寄贈してくれました。贈呈式において、実行委員を代表して吉岡さんは、「私たち自身のために、そして私たちの子供らの現在と将来のために、図書館を充実させたい、この気持は、厄払いの今年を契機に毎年少しづつ続けていきたい。」とあいさつされました。兎年生れのこの人達の文庫を、「ラビット文庫」と名づけ、今年は、ブリタニカ大百科事典、三十巻と、少年向け読みものを発注しました。

二百年余の歴史を持つブリタニカが、「知識の泉」として世界中の人々に愛読されてきましたが、日本語で読めるように編

- ① 国際的視野に立って日本人のため特別編集した百科事典である。
- ② 編集に参加した学習、専門家は、世界各国から一万余名。人間社会を中心とした体系的な編集。
- ③ 「日本人が必要としている知識を」の観点から、日本やアジアの項目に大きな比重をおいている。
- ④ 全三十巻の内訳は、大項目事典二十巻、小項目事典六巻、総索引一巻、参考文献一巻、別巻ブリタニカ、スタティガイド一巻、ブリタニカ国際地
- ⑤ 大項目事典、二十巻の約五千項目は、一項目が平均一万字で、詳しく紹介されている。
- ⑥ 小項目六巻には十二万項目が収録されている。
- ⑦ 入荷は三月下旬の予定です。ご利用ください。



衛生思想普及と 検診後の指導を

健康づくり推進協議会



保健ダイヤル相談は好評

鷹巣町健康づくり推進協議会は昭和五十三年十二月に発足、青年、婦人、老人の各層と、学校、保健所、医師会等関係機関の代表等二十五名で構成されている。二月十九日、その第一線で活動している保健婦、栄養士、生活普及員、養護教員、助産婦らによる専門部会を開催、今年度事業の実績を検討し、今後のあり方を話し合った。

各地区で婚前学級を

近頃、人工妊娠中絶を軽視したり、フリーセックスに抵抗を感じない若い人が多くなり、結婚後の生活と健康に多くの問題が発生している。今年、「家族計画指導事業」として綴子、栄地区の青年会で婚前の学習会を開催し、成果をあげたが、今後は公民館事業と合わせて町内全地区で開催したい。

成人病は検診後の指導が大切
成人病、脳卒中関係の検診率は着実に向上している。但し、事後指導がなされていないのが問題で特に循環器の二次検診で異常を認められた人々を集めての指導は必要である。明年度は地区ごとに実施したい。

脳卒中患者のリハビリ学級を二回開催したが、大変良かった。再発防止のため「友の会」をつくり集まる回数を多くし、はげまし合っていた。

学校の保健委員会を強化

塩分のとり過ぎなど、成人病の要因が小学生時代から培われていくといわれている。昨今、学校給食に対する考え、日常生活の食事のバランスなど見直ししなければいけないことが多い。そのためには、養護教員を活用し、学校の保健委員会の活動の活性化を図らなければならない。

学校教育が学習指導面のみに偏りがちなので、健康教育を重視するようこの協議会から提言していくべきである。

衛生教育をすすめるための組織強化を

最近では各方面からの衛生教育が盛んになり、各種の検診率は向上してきている。しかし、保健婦不足、栄養士不在のため事後指導が手すりの状態である。

今後は、町で委嘱している保健補導員の組織の充実と質の向上をめざしての研修会を多く開催して直接住民の相談役になって貰うようにしたいものである。衛生教育の会合も、日中はみんな働いているので、夜間に開けるよう、保健所とか学校の養護教員の協力をお願いしたい。

結論として「衛生思想の普及」の大事なことを話しあって会を閉じた。

部落訪問



まつ松

ざわ沢

春先の道は乾いていたが、交通量の少ない明利又線にはどこどころに氷のわだちが残り、竜森小学校から奥は雪道であった。松沢部落は役場から約二十軒、十七世帯が山合いの道路沿いに静かに並んでいた。

三上社教主事と、前の部落会長島山勉さんを訪ねる。慶応年間に建てたというこの家は百十年以上もなるのに頑丈でカヤ葺きの大きな屋根にトタンをかき内部改造もよくできていた。

松沢部落の島山家は黒森の別家で藤本家は比内から移ってきたといわれ、享保郡邑記(一七三〇)には家九軒と記されている。

大正十三年生まれの島山さんは、昔の思い出などいろいろ語ってくれた。今でこそ鷹巣に出るのに便利になったが、昔は何をするにも距離の近い米内沢に出たもので、三月に新しい教科書を買ったため、筏で阿仁川を渡って本屋に行ったものであった。竜森小は複々式の教科書だからと最後の方にまわされることが多かった。その頃は部落に鍛冶屋

があり、トンテンカンと鉄や鎌を作りこの地域の人々の需要に応じていた。

戦争が終って民主主義の風がここにも流れて、青年達は自分で山から木を切り集会所を建て、活発な話し合いや村づくりの実践活動をした。中外鉱山、天然杉と豊富な資源を持つこの地区は昭和三十一年の町村合併のとき、森吉町からの誘いもあり大きく揺れたが、合併後の道路の改良工事が急速に進んだ。

妹尾館から上流の小猿部川約八軒は千変万化する岩の間の清流と、四季をいろどる木々が一大景観を呈し、松沢の近くには藩政時代に岩壁を削って作った堰根の跡が処々に残っている。遊歩道を通したらすばらしい観光開発になるだろうと語っていた。

帰途、十二年も前から山のきのこの種菌培養を研究し、マイタケ栽培に成功し大量生産にとりくんでいる「藤本きのこ」種菌培養工場を見せて貰い感心して帰った。

(公民館長 長崎 久)



島山 勉さん 宅

みんなの広場



いぬたで

道ばたに咲くふつうの花。窒素が多いと群生する性質がある。

(南小・阿部達雄先生)

『演劇サークル』

小さな会ですが：

摩当小坂和子(36)



演劇の好きな者同志が「この鷹巣町で芝居をやりたい」

「かつてあんなにすばらしい活動を続けた先輩たちがいたのだから、我々も負けずに芝居の灯をともそう。最初は小さい灯でも、やがては大きい灯になるだろう。その日の為に努力しよう。」という事で、毎週木曜日集まり続けて三年

わたしのおばあさん



わたしのおばあさんは、わたしが学校からかえつてくると「みきかえったが、おかあさんがつくったおかしがあるよ。」といって、もってきてくれます。おばあさんは、毎日二歳になる弟のめんどうをみたり、ごはんをたいたりしています。わたしは、おばあさんがつかれないかなあとしんばいびです。

広報のしおり

春を着る

衣がえにはまだ間のあるころですが、そのあいだをぬつて、そつと近づく春の暖かさに「春の

いざ幕が開くと他の事はいつさい頭になく、なり、役と持ち場の仕事に集中し、芝居の流れにそつと動きます。幕が閉まると、一つの事を仲間と共に心をあわせてやりとげた喜びで、緊張感は安堵感と満足感に変わります。

しかし、芝居は自己満足をする為に演じるのではなく、観てもらふ為に演じ、そこに観てくれる人がいてはじめて芝居がなりたつのです。一人でも多くの人に私たちの芝居を観ていただき批評してもらふことが一番の勉強になります。これからは活動の積み重ねをし、観てもらふ機会を作る努力をしたいと思います。現在は九月の公演にむけて民話劇と創作劇の練習にかかつております。

だからわたしはときどき、おちやわんをあらつておてつだいをしています。



西小学校2年
こうさか みき

装い」という、おしゃれをしてみたいかがでしようか。いえ、べたべたお化粧して派手なものを着るといふものではなく、いままでの暗い色ものから明るい色のものを身につけるといった程度のことです。いっぺんに着替えるには、まだ早すぎると思つている用心深いかたも、どこか一カ所ぐらいい

「春を着る」気持ちがあほいものです。實用一点ばりの奥さんに、こういう小さな季節感の表現で、家庭のふんいきを明るく変えられます。主婦は家庭生活のディレクターです。家族のみなさんを明るく演出する役割を背負つているものと心かけていただきたいと思います。

たかのす文芸

東横町 小林 晋子

＝俳 句＝

雪山河壺を彩る火の加減
狐火に泣きしは遠く母の膝
バス停に母郷の詭風花す
うぶすなの森にまたがる冬の虹
母の手をこぼるる寒の厨水

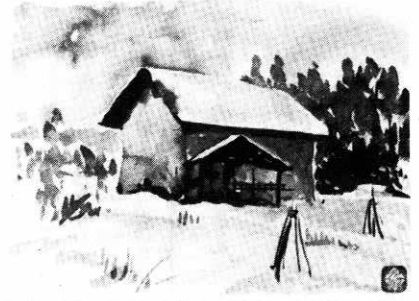
東横町 成田 春秋

露のとう里のわらべの布施谷節
間伐や鉦もて印す冬木立
薄暗く鋸研ぐ人に炭をつぐ
雪明り眼に力ため目立鍛冶
大扉浄土の鍵の凍てしかな

伊勢町 五代 儀幹雄

かまくらの夜景に添えし天守閣
詩情濃くなるかまくらの灯入れどき
金髪の子がかまくらを出たがらす
雪祭りどの路地からも梵天くる
かまくらの夜も身丈の雪おろす

お知らせ



一線美術会会員 九島寮二氏

三月の健康相談

成人健康相談は、二十六日まで。時間は、午前九時から午後三時まで。血圧測定のほか、必要に応じて尿検査も行います。

妊婦健康相談は、十七日です。時間は、午前九時から午後三時まで。おいでの時は母子手帳を忘れずにお持ちください。

また、今月の母親学級は、沐浴指導と分娩後の注意について。時間は、午前十時から十一時まで。場所は、いずれも鷹巣公民館保健相談室です。

乳児健康相談は、二十一日〽五時

地籍調査説明会

〓七日市地域の一部分で〓

昭和五十五年度において、七日市地域(岩脇、品類、深沢、吉ヶ沢地区)を新規に地籍調査することになり、準備を進めております。

つきましては、調査に先だち土地所有者各位のご理解とご協力を得たく、次の日程で説明会を行います。

四年十一月生まれとなっております。受付時間は、午後零時半から一時まで。

離乳食実習指導は、二十一日〽五時。四月八月生まれとなっております。受付時間は、午前九時半から十時まで。乳児健康相談も併せて行いますので、お子さんもお連れください。

※場所は、いずれも鷹巣保健所です。

小中学校入学式

は四月四日に〓

町内各小中学校の入学式は、昨年までは四月一日に行われていましたが、今年から全県一律に四月四日となります。

新年度の小学校入学児童は、男百八十名、女百五十一名、計三百三十一名。中学校は男二百二名、女百六十九名、計三百七十一名。

を開催します。

当該地区に土地をお持ちの方は、最寄りの説明会場へおいでください。時間は、いずれの会場も午後七時からです。

- 3月24日 岩脇児童館
25日 品類児童館
26日 深沢・吉ヶ沢児童館
27日 七日市基幹集落センター

※担当は、農林課農業土木係です。お問い合わせは同係へ。

各校の入学児童生徒は、次のとおりです。

- ▽鷹巣小学校百二名(男六十、女四十二)
▽東小学校五十一名(男二十七、女二十四)
▽綴子小学校四十九名(男二十八、女二十一)
▽竜森小学校五名(男二、女三)
▽中央小学校五十八名(男三十二、女二十六)
▽南小学校二十六名(男十三、女十三)
▽西小学校四十名(男十八、女二十二)
▽鷹巣中学校三百二十八名(男百八十、女百四十八)
▽南中学校四十三名(男二十二、女二十一)

転居届は郵便局に

もお出しください

毎年三月から四月にかけて転勤入学、就職などで住所の変わる人が多くなります。

転居するときは役場への手続きをしますが、〓ついついかり〓する

るのが郵便局への転居届です。転居届を出されると、郵便局では旧住所あてに来た郵便物を、一年間新住所に転送いたします。

転居届の用紙は、郵便局の窓口のほか役場にも準備しております。また、用紙は所定のものでなくとも、次の事項を記載してあれば郵便はがきでもさしつかえありません。

- ▽届出人の氏名および押印
▽旧住所
▽新住所
▽転居者名(家族の名前も)
▽転送を開始する日

なお、旧配達局に届をすると新配達局にも通知いたします。

献血にご協力を

献血車「あかつき」号が、三月二十五日(火)来町します。巡回時間は次のとおりですので、皆さまでご協力をお願いいたします。

- 9時〜10時30分 丸運前
11時〜12時 鷹巣農協前
13時〜13時50分 平塚商会前
14時〜15時 加藤整備工場前

香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。

- ご芳志に深く感謝いたします。
▽田中〓三沢勇悦さんから亡母ミヨさんの香典返し
五〇、〇〇〇円(老人福祉に)



2月16日〜2月29日

誕生おめでとうございます

- 佐藤 大(幸二) 長男) 与助信
畠山 慶志(啓一) 長男) 藤 株
高坂久美子(繁) 長女) 相善町
長崎友理子(重孝) 長女) 緑ヶ丘
畠山 知子(義雄) 長女) 大畑
堀内 貴之(勤) 長男) 昭和
蛇川 厚(論) 三男) 田中
小坂 恵子(洋一郎) 長女) 花園町
佐藤 裕美(忠裕) 長女) 旭町
前田明日香(博也) 長女) 掛泥
成田 夕哉(一康) 長男) 花園町
長田 直美(正二) 二女) 前野

二人の前途を祝福いたします

- 大川 治友 東住吉町
平川 恵子 上小阿仁
佐藤 芳次 吉ヶ沢
佐藤 多江子 吉ヶ沢
工藤 義広 東住吉町
金子 洋子 八竜町

おくやみ申しあげます

- 小塚 五郎(41歳) 高村信
大川 リヨ(84歳) 元新町
藤原 正孝(66歳) 街道町
沢田 四郎(74歳) 前山
畠山 竜蔵(80歳) 藤 株
田村茂一郎(73歳) 仲町